

解体補助対象空家等の判断基準

区分1 (地域の特性及び実情による判断基準)		評点	評点の計
A 立地の状況			
<input type="checkbox"/> 狭小な敷地に、隣家と間近に建築物が立地し、密集している市街地		20	}
<input type="checkbox"/> 比較的敷地の広い戸建て住宅等が立地している住宅地		10	
<input type="checkbox"/> 農山村地域等で、建築物の立地がまばらな地域		0	
B 周辺の敷地の用途			
<input type="checkbox"/> 周辺に学校、病院、公園、大規模店舗等がある		20	}
<input type="checkbox"/> 周辺は、中小の商店や住宅等である		10	
<input type="checkbox"/> 周辺は、田畑や山林等である		0	
C 周辺の道路の特性や利用状況			
<input type="checkbox"/> 公共施設への通路、緊急輸送道路、通学路、幹線道路等である		20	}
<input type="checkbox"/> 通勤等の日常生活で使用する住宅地等の道路である		10	
<input type="checkbox"/> 農道や林道等で、通行量がそれほど多くない道路である		0	
D 隣地境界線又は前面道路までの距離			
<input type="checkbox"/> 当該建築物の約1階の階高に相当する距離以下(※5m未満)		20	}
<input type="checkbox"/> 当該建築物の約1階から2階の階高までの距離以下(※5m以上10m以下)		10	
<input type="checkbox"/> 当該建築物の約2階の階高に相当する距離以上(※10m超)		0	
E 前面道路の状況			
<input type="checkbox"/> 通行量が多い主要な道路で、通学路等になっている		20	}
<input type="checkbox"/> 通学路等ではないが、公道で不特定多数の人が通行する道路である		10	
<input type="checkbox"/> 行き止まり道路等で、通行量がそれほど多くない道路である		0	
F 冬季(降雪期)の屋根雪の落雪等による悪影響等			
<input type="checkbox"/> 屋根雪が公道や隣家に落ちて被害をおよぼすおそれがある		20	}
<input type="checkbox"/> 屋根雪が隣家の敷地等に落ちて迷惑になるおそれがある		10	
<input type="checkbox"/> 屋根雪の落雪等は敷地内だけである		0	
(別表1) 評点の合計		A+B+C+D+E+F	【最大120点】
区分2 (建物の状況及び周囲への影響による判断基準)		評点	評点の計
A 建物状況と周囲への影響(外的要因による倒壊等の危険性) 【最大290点】		小計	
<input type="checkbox"/> 基礎	<input type="checkbox"/> 基礎がない	20	}
	<input type="checkbox"/> 不同沈下がみられる	10	
	<input type="checkbox"/> 基礎に変形、割れがある	10	
	<input type="checkbox"/> 基礎と上部構造にずれがある	20	
<input type="checkbox"/> 外壁	<input type="checkbox"/> 外壁材の10%程度が剥離し、下地が露出している	10	
	<input type="checkbox"/> 外壁に貫通する穴が生じている	15	
	<input type="checkbox"/> 外壁の構造が粗悪な状態である	10	
<input type="checkbox"/> 土台・柱・梁	<input type="checkbox"/> 土台・柱・梁の著しい腐朽・破損が数か所ある	25	
	<input type="checkbox"/> 上記で、柱が傾斜(1/20未満)している	30	
	<input type="checkbox"/> 上記で、柱が著しい傾斜(1/20以上)している	80	
<input type="checkbox"/> 屋根	<input type="checkbox"/> 屋根の一部が変形している	10	
	<input type="checkbox"/> 屋根の過半が変形している	50	
	<input type="checkbox"/> 屋根材の一部が破損して下地が露出している	25	
	<input type="checkbox"/> 屋根材の過半に著しい剥落がある	50	
B 衛生状態の危険の程度 【最大60点】		小計	
<input type="checkbox"/> 敷地の状況	<input type="checkbox"/> 雑草が繁茂している	10	}
	<input type="checkbox"/> 敷地内に建築材等又はゴミが散乱している	10	
<input type="checkbox"/> 建物の状況	<input type="checkbox"/> 外壁に穴や開口部のガラス等割れて開いており、動物等の侵入が容易な状態となっている	10	
	<input type="checkbox"/> おびただしいねずみ、害虫等が発生しており、地域住民の日常生活に支障を及ぼすおそれがある	20	
	<input type="checkbox"/> 住み着いた動物(猫など)が周辺の土地・家屋に侵入し、地域住民の生活環境に悪影響を及ぼすおそれがある	20	
	<input type="checkbox"/> 悪臭が発生している	20	
<input type="checkbox"/> C 周囲の地盤面が一部崩落・崩壊し、道路等に倒壊する恐れ		50	
<input type="checkbox"/> D 工作物(塀、看板等)が道路等に倒壊する恐れ		50	
<input type="checkbox"/> E エアコン室外機やアンテナ、煙突等の附属物が破損し、周囲に飛散する恐れ		10	
(別表2) 評点の合計		A+B+C+D+E	【最大460点】
評点の総合計		区分1+区分2	【最大580点】
備考	<p>【緊急的又は予防的な状態の判断基準】 敷地周囲への影響、外的要因(地震、強風、積雪等)による各建物の基礎～屋根迄の部位別状況を考慮し判定する。</p> <p>【建物と道路等の距離の目安】 平屋建て:5m程度、2階建て:10m程度、3階建て:13m程度の距離を確保していない場合とする。</p>		